



呉トピックス



▲大きくなったダイコンを引き抜く児童（三坂地小学校 3 年生）



▲広甘藍を収穫、販売しました（長迫小学校 4 年生）



小学生が収穫、販売を体験 呉市立長迫小 4 年生と三坂地小 3 年生

令和 5 年 12 月中旬、呉市立長迫小学校 4 年生が呉市郷原町で伝統野菜「広甘

藍」を、呉市立三坂地小学校 3 年生は広北学童農園でダイコンの収穫と販売を体験しました。

JA 職員や生産者に手伝ってもらいながら収穫した野菜を手にした児童らは「自分たちで植えた小さな苗が大きくなっていてびっくり。本当にうれしい」と笑顔でした。

また、収穫翌日には呉グリーンセンターで広甘藍を、呉アグリセンターではダイコンを販売。大勢の来店者が列を作り、あっという間に売り切れました。

伝統の味 「葉つきみかん」出荷

12 月中旬、呉地域本部は下島集出荷場で、生産者や JA 職員など約 40 人が年末の季節商材「葉つきみかん」の選果、箱詰め作業を行ない、約 19 t を県内市場を中心に名古屋から関西、岡山に向けて出荷しました。

お正月の縁起物として人気の高い葉つきみかんは、1537 年に呉市蒲刈地区に植栽された小蜜柑で広島県柑橘栽培の起源とされ、486 年間、形・味を変えずに受け継がれています。県内最大の産地の呉市下蒲刈町・蒲刈町では約 150 戸が生産し、県内シェア約 9 割にもなります。



▲山積みのみかんを選別する作業員

葉つきみかんは装飾用に使われることが多いですが、濃厚な味わいと爽やかな香りで食味が良いことから産地では生食用としても利用されています。

お正月の風物詩 ミツバ出荷

江田島市鹿川地区の田中農園は、お正月の食材に欠かせないミツバを約 200 m² のハウスで栽培しています。12 月下旬ごろから収穫し年内に 10、000 束（1 束 50 g）を出荷しました。

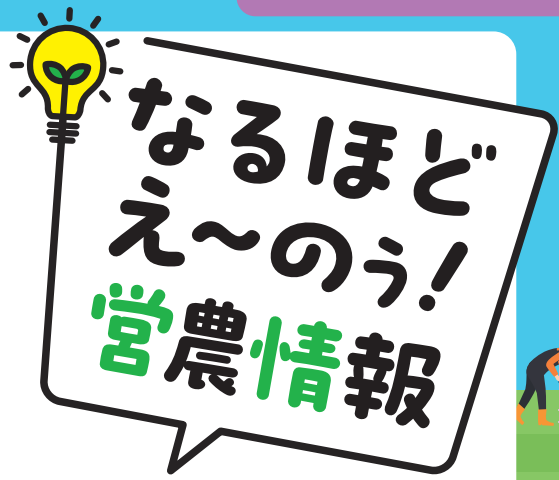
花卉栽培が主体の田中農園は 2016 年、県内市場から依頼を受けて水耕栽培を始めました。ミツバは 10 月頃から種をまき約 3 カ月かけて育て、規格にあった丈にそろえるため、特に成長時期の調整には細心の注意を払います。徹底した栽培管理で 36、38 cm になったものを収穫、束にして丁寧に袋に詰めていきます。

同農園の田中智さん（32）は「寒波



▲出来を確認する田中さん(右)

の心配もあったが、しっかりと成長した。正月の風物詩として家庭で鍋などを囲んで、香りを楽しんでほしい」と笑顔で話しました。



落葉果樹

せん定の見直し

一通りせん定が終わった園も、再度園内を巡回しましょう。
角度を変えて見ると、重なっている太枝や、側枝を見落としていたことがあるので注意しましょう。

また、枯れ枝や病害虫被害枝を除去したら同時にせん定枝や落葉した葉も集めて園外に持ち出しましょう。
結実する枝を若い枝に更新していく必要があります。花芽の量も多くならないように調節しましょう。



家庭菜園

2月は年間を通して気温が低い厳寒期です。野菜づくりにおいては引き続き秋冬野菜の栽培管理に加えて春夏野菜の植え付けに向けての準備も必要になります。春に備えて、2〜3月に畑の準備をしていきましょう。

土づくりとは

野菜栽培において土づくりはとても大切です。
家庭菜園の多くは面積的にそう広くなく、そこに多種類の野菜を高い頻度で作付けする場合があります。畑の土の力が大変消耗しやすくなります。この力を常に補い、増強し、野菜作りに適した性質に改良することが必要です。

野菜にとって「よい土」とは

土づくりには、物理性・化学性・生物性の3つの要素があります。

- ・物理性…通気性に優れている、水はけがよい、水持ちがよい、肥料持ちがよい
- ・化学性…土の酸度（pH）が適正である、肥料成分
- ・生物性…土壌有効生物が豊富、土壌病害虫の少ない土

イチジク

せん定は、3月に入ると根の活動が始まるので、遅くとも2月中には必ず終わるようにしましょう。

▽園内の清掃

せん定枝・葉・残果は、病害虫の発生源となるので、園外に持ち出して処分しましょう。



▽苗の植え付け

植え付けをする前に、園地の適地性を確認しましょう。

イチジクの根は、酸素要求量が高く、耐水性の弱い作物です。

また、乾燥にも弱いので、水源の確保が必要となります。

園地を選定する場合は、これらの事を考慮して植え付けを行ないましょう。

植栽間隔は、樹の間隔6m×6mを標準にし、植え付け2週間前までには準備しましょう。

植穴の大きさは、直径1m、深さは30〜40cmで、そこへ完熟堆肥・石灰質資材・ヨウリンなどを投入し、土とよくかき混ぜておきます。人力でかき混ぜるには労力がかかるので、管理機などを活用しましょう。

▽挿し穂の採取および貯蔵

自家育苗する場合には、着色・果実肥大の良い健全な樹から穂木を採取します。

一年生枝（昨年春に発芽した枝）で節間の短い充実した枝を選びましょう。

挿し木の時期は3月中下旬です。ポリシートで包み温度変化の少ない冷暗所で貯蔵しましょう。

くれぐれも挿し穂が乾燥しないように注意しましょう。

▽排水路の整備

水田跡に植栽している場合など、水はけの悪い園地は、溝切などを行ない、排水対策を行ないましょう。

カキ

せん定の見直しと同時に、粗皮削りを行ないます。主幹部や太い枝の分岐部に、ヘタムシ・コスカシバ・カキノキマダワメイガなどが越冬しているので、粗皮削りが有効となります。芽が動き出してからでは、樹体が衰弱するなどの悪影響を及ぼす可能性があります。休眠期中に作業を終えるようにしましょう。

表1 代表的な堆肥の特徴

		栄養分の多さ		土壌改良の性質
		腐葉土	極少	あり (水はけをよくする)
植物性 堆肥	パーク堆肥	極少	あり (水持ちをよくする)	
	牛ふん堆肥	少	少しあり	
	豚ふん堆肥	中	なし	
	鶏ふん堆肥	多	なし	

※鶏ふんは速効性の肥料としての利用が適しています

表2 代表的な石灰資材の特徴

	特徴	アルカリ性の強さ
消石灰	主成分は水酸化カルシウム。強度のアルカリ性であるため、特に酸性度が高くなった土壌の改良や初めて作付けする畑の利用に おすすめ。	強
苦土石灰	炭酸マグネシウムと炭酸カルシウムを含む。作物の根を強くする効果や、葉の緑色のもととなる葉緑素の形成促進効果もある。	中
有機石灰	貝殻などを焼いて粉砕したもので、炭酸カルシウムが主成分。効果が緩やかなので、土壌に入れるタイミングや順番を気にすることなく使用できる。pH調整だけではなく、土壌の通気性や排水性を高めることができる。	弱

③肥料の施用

肥料は植物の成長に必要な栄養素です。肥料には化学肥料、有機質肥料があります。

化学肥料は速効性があり成分量が明確で施肥量の調節がしやすい一方で、化学肥料ばかりで栽培を続けると土壌の有機物が減少していき、畑は固く締まっていきます。

有機質肥料はゆっくり効果が現れ、肥効が長く続きますが、堆肥と同じで土壌微生物に分解されるため、施用から作付けまでに間をあけることが必要です。

※堆肥の施用での注意

完熟発酵していないものは植物の生育を阻害してしまうため、植え付けの1カ月前には施用してなじませておきましょう。

※石灰施用での注意

土壌は一度アルカリ性に傾いてしまつと戻しにくいいため、必要な量を把握し散布量に気をつけましょう。消石灰は、窒素分を多く含む堆肥・肥料と同時に施用すると効果を下げる恐れがあるため、1〜2週間程あけて施用しましょう。

ときめき ♡ 女性部通信

干支の押絵、お手玉を手作り 講習会開催

J Aひろしま女性部呉地区本部は希望の支部で講習会を開き、今年の干支「辰」をかたどった押絵とお手玉を作りました。

また、3支店で地域の方を対象に講習会を開き、大変好評でした。



干支のお手玉作り



▲下島支部

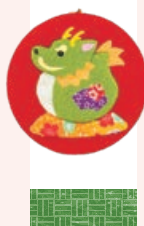


▲深江支部



▲大古支部

干支の押絵作り



◀波多見支部



▶沖支部



▲大古支部



▲天応店



▲広西支店



▲昭和支店

手作りのしめ縄で新年を迎える 鹿川支部

12月中旬、J Aひろしま女性部呉地区本部鹿川支部は鹿川支店で、江田島市三高地区の組合員を講師に迎え、しめ縄を作りました。手作りしたしめ縄で新年を迎えたいと人気の取り組みは9年目になります。

使う稲わらや橙、ウラジロは地元で採れたもの。コツを教えてもらいながら、輪の下部が膨らむよう縄の真ん中にワラの団子を入れて縄を2本作り、それぞれ輪にして稲穂や橙を飾りつけました。



▲確認してもらいながら縄を輪にする部員

おせち料理講習会 開催

J Aひろしま女性部呉地区本部は、12月に4支部でおせち料理講習会を開きました。

『家の光』12月号「開運おせち」レシピを参考に、定番のおせち料理にひと手間加えた含め煮や栗きんとん、エビのマリネなど7品に挑戦しました。



▲中町支部